

本会は、総会の開催が遅いので、未承認ではありますが、次ページ以降に昨年度の収支決算報告、本年度の事業計画などの案を掲載します。総会で承認された段階で「案」が取れることとなります。委員長、副委員長の判断でそのようにしました。また、昨年ご報告すべき1997年度の収支報告等が漏れておりましたので、貼付いたしました。以上、ご了承をお願いいたします。

[1] 平成11年度日本IFTtoMM会議総会の報告

平成11年11月9日(火)、工学院大学新宿校舎において総会が開かれ、平成10年度の事業報告、収支決算報告および監査報告、平成11年度の事業計画および収支予算の審議ならびに承認が行われた。主な議事、決定内容の詳細は以下のとおりである。

I. 平成10年度事業報告

1. 国際活動

- (1) 執行委員会：1998年7月4、5日 フランス、パリ
- (2) 5th International Conference on Rotordynamics
：1998年9月7～10日、ドイツ、ダルムシュタット
- (3) IFTtoMM 9th General Assembly Meeting
：1999年6月23日、オウル、フィンランド

2. 国内活動

- (1) 実行委員会を2回開催(第105回～第106回 平成11年4月27日、9月初旬)。
- (2) 第5回日本IFTtoMM会議シンポジウムを平成11年11月9日に工学院大学新宿校舎にて開催。
- (3) 日本IFTtoMMニュース No.26 (1999.3.31) を発行。

3. 会員の状況 (平成11年4月1日現在)

個人会員： 115名

賛助会員： 5団体 (株)小笠原プレジジョンラボラトリー、太陽誘電(株)、
(株)機械振興協会、(株)東芝、日機装(株)



Ⅱ. 1999年度収支決算報告（案）（平成11年4月1日～平成12年3月31日）

1. 一般会計

収入の部

（単位：円）

項 目	予 算	決 算	備 考
会費収入（個人）	300,000	300,000	'93 3,000 × 1 '94 3,000 × 1 '95 3,000 × 2 '96 3,000 × 2 '97 3,000 × 4 '98 3,000 × 12 '99 3,000 × 75 2000 3,000 × 2 2001 3,000 × 1
会費収入（賛助）	250,000	200,000	'99 50,000 × 4 (一社未納)
雑収入		402	
小 計	550,000	500,402	
前期繰越金	891,321	891,321	
合 計	1,441,321	1,391,723	

支出の部

（単位：円）

項 目	予 算	決 算	備 考
[国際活動費]	<u>255,000</u>	<u>224,149</u>	2000年度会費
IFTOMM年会費	249,600	217,900	US\$ 2,000.00 × 108.95
送金手数料	5,400	5,400	
現地支払銀行手数料	0	849	
[国内活動費]	<u>707,000</u>	<u>317,929</u>	
会議費	100,000	2,215	
講演会費	300,000	100,000	
印刷通信費	100,000	104,690	
事務委託費	100,000	100,000	
郵便振替費	7,000	5,710	
予備費	50,000	5,314	
パンフレット印刷代	50,000	0	
[MMT誌費]	<u>47,500</u>	<u>47,500</u>	9,500 × 5 ('99 Vol.34)
賛助会員購読料	47,500	47,500	(MMT誌会計へ繰入れ)
小 計	1,009,500	589,578	
次期繰越金	431,821	802,145	
合 計	1,441,321	1,391,723	

2. MMT誌会計

収入の部

(単位：円)

項目	予 算	決 算	備 考
MMT誌購読料収入			
個人	180,500	88,000	2,500 × 1 ('99 Vol.34) (前年度不足分) 9,500 × 9 (2000 Vol.35)
賛 助	47,500	47,500	9,500 × 5 ('99 Vol.34) (一般会計から繰入れ)
小 計	228,000	135,500	
前期繰越金	231,427	231,427	
合 計	459,427	366,927	

支出の部

(単位：円)

項目	予 算	決 算	備 考
出版社への支払	264,000	266,510	VOL. 34 ('99) NLG 178.00 × 25名 × 59.89 = 4,450.00 × 59.89 (一冊単価：¥10,660)
通 信 費	4,000	4,000	
小 計	268,000	270,510	
次期繰越金	191,427	96,417	
合 計	459,427	366,927	

3. 準備金

(1) 国際会議準備金	710,000
(2) 国際交流活動準備金	400,000
合計	1,110,000

Ⅲ. 1999年度監査報告（案）

剰余金処分案

平成12年3月31日

（単位：円）

1. 当期末処理分剰余金		898,562
1. 前期繰越剰余金	1,122,748	
一般会計	891,321	
MM T誌会計	231,427	
2. 当期収益金	-224,186	
一般会計	-89,176	
MM T誌会計	-135,010	
2. 剰余金処理額		
1. 国際会議準備金	0	0
2. 国際交流活動等準備金	0	0
3. 次期繰越剰余金		898,562
一般会計	802,145	
MM T誌会計	96,417	

上記のとおり相違ありません。

平成12年4月

日本 I F T o M M 会 議
委員長 三浦 宏文
幹 事 林 巖

上記の調査を遂げ、その正確であることを承認します。

監 事 人見 宣輝

IV. 2000年度事業計画（案）

1. 国際活動

- (1) 執行委員会（2000年7月2日，Poland）
- (2) International Conference on Machine Automation（ICMA 2000）
（2000年9月27日～29日，大阪工業大学）

2. 国内活動

- (1) 実行委員会を4回開催予定（5月，10月，11月，3月）
- (2) 日本IFTtoMM会議シンポジウム開催予定
第6回（2000年11月28日）工学院大学
- (3) 日本IFTtoMMニュースを年1回発行予定
- (4) 会員増強キャンペーンを行う。
- (5) 日本IFTtoMM会議のホームページを充実させる。

V. 2000年度収支予算（案）（平成12年4月1日～平成13年3月31日）

1. 一般会計

収入の部

（単位：円）

項 目	予 算	備 考
会費収入（個人）	300,000	2000 3,000 × 100 (名)
会費収入（賛助）	250,000	2000 50,000 × 5 (社)
小 計	550,000	
前期繰越金	802,994	
合 計	1,352,994	

支出の部

（単位：円）

項 目	予 算	備 考
[国際活動費]	<u>246,400</u>	
IFTtoMM 年会費	240,000	2001 US\$ 2,000 (@120)
送金手数料	5,400	
現地支払銀行手数料	1,000	
[国内活動費]	<u>707,000</u>	
会議費	100,000	
講演会費	300,000	
印刷通信費	100,000	
事務委託費	100,000	
予備費	50,000	
パンフレット印刷代	50,000	
郵便振替費	7,000	
[MMT誌費]	<u>47,500</u>	
賛助会員購読料	47,500	9,500 × 5 (2000 Vol. 35) (MMT誌会計へ繰入れ)
国際会議準備金積立	0	
小 計	1,000,900	
次期繰越金	353,094	
合 計	1,353,994	

2. MMT誌会計

収入の部

(単位：円)

項目	予算	備考
[MMT誌購読料収入]		
個人	199,500	2000 9,500 × 21 (Vol.35)
賛助	47,500	2000 9,500 × 5 (一般会計から繰入れ)
小計	247,000	
前期繰越金	96,417	
合計	343,417	

支出の部

(単位：円)

項目	予算	備考
出版社への支払	286,000	VOL. 35 (2000) 11,000 × 26 (冊)
送金手数料	4,000	
小計	290,000	
次期繰越金	53,417	
合計	343,417	

3. 準備金

(1) 国際会議準備金	710,000
(2) 国際交流活動準備金	400,000
合計	<u>1,110,000</u>

[2] 第5回日本IFTtoMM会議シンポジウムの報告

総会に先立ち、下記の要領で第5回のシンポジウムが開催された。前年の第4回に続くもので、会員の自主的参加による The Theory of Machines and Mechanisms に関する講演で、討論重視の方針も踏襲された。発表件数12件を3セッションに分け、1件につき発表時間15分、討論10分で行われた。参加者は約50名で、講演前刷集が参加者と賛助会員に無料で配布された。

第5回日本IFTtoMM会議シンポジウム

日時：平成11年11月9日（火）10:00～16:55

場所：工学院大学 新宿校舎

発表テーマ：

セッションI 座長 舟橋 宏明

1. 円筒型超音波モータの小型化について
森田 剛 (理化学研究所), 黒澤 実 (東京工業大学), 樋口 俊郎 (東京大学)
2. 超磁歪アクチュエータのパンチングマシンへの適用
永山 奈歩 (東京電機大学), 和田 隆伸 (アイワ株式会社),
中田 毅 (東京電機大学)
3. 「ねじ原理」マイクロロボットの段差通過機構の研究
香川 美仁, 林 巖, 岩附 信行, 森川 広一 (東京工業大学),
山口 敏明 (日本電気), 中村 勝巳 (カンツール技研)
4. 8脚歩行ロボットの歩容設計
田中 大介, 八木 慎太郎, 柳沢 隆志, 三浦 宏文 (工学院大学)

セッションII 座長 山川 新二

5. 人のような動きをするロボット
山根 克, 中村 仁彦 (東京大学)
6. キャスティングマニピュレーションにおけるグリッパの空中軌道制御
有隅 仁, 小森谷 清 (機械技術研究所)
7. マニピュレータ用手首関節機構の機構設計
南後 淳, 渡辺 克巳 (山形大学)
8. SMAアクチュエータを用いた多指ハンド
山本 隆一郎, 加藤 隆, 山川 新二 (工学院大学)

セッションIII 座長 林 巖

9. 遊脚足部の着地時刻の早まり/遅れ情報に基づく歩行機械の対地適応機構の研究
樋口 勝, 川淵 一郎, 武田 行生, 舟橋 宏明 (東京工業大学)
10. 液特性を考慮したポンプ移送
小西 義昭, 塚本 雄貴, 伊藤 和之 (日機装株式会社)
11. 高エネルギー物理実験における機械工学
人見 宣輝 (高エネルギー加速器研究機構)
12. nano-CMMの開発, X Yステージの評価
藤原 正直, 直居 裕和, 高増 潔, 大園 成夫 (東京大学)

[3] IFToMM 関連の会議・講演会の報告

- (1) 10th World Congress (1999年6月20日～24日, Oulu, Finland)
- (2) 9th General Assembly (総会) (1999年6月23日, Oulu, Finland)
 - ・37ヶ国出席
 - ・三浦宏文委員長がIFToMM執行委員会のメンバーに選出された。
 - ・508件 presented orally, 116件 presented by poster
 - ・参加者：45ヶ国から464名
- (3) 執行委員会 (2000年7月2日, Poland)
- (4) International Conference on Machine Automation (ICMA 2000)
(2000年9月27日～29日, 99大阪工業大学)

[4] 実行委員会からのお知らせ

9 (1) 第6回日本IFToMM会議シンポジウム

日時：平成12年11月28日(火) 10:00～

場所：工学院大学・新宿校舎

論文原稿作成要領：

- ・形式は日本ロボット学会論文集に準ずる
- ・A4版片面で8頁以内
- ・日本語又は英語(発表も英語可)
- ・申込み及び原稿提出〆切：9月20日(月)
- ・提出先：日本IFToMM会議事務局

(2) 平成12年度総会

日時：平成12年11月28日(火) 16:30～17:00

場所：工学院大学・新宿校舎

- (3) MMT誌の個人購読分について、No.34の出版元からの請求単価が10,002円('99.4.1現在の為替レート)とNo.33から36%アップしましたが、当面9,500円に据え置きます。

- (4) Netscape 下記 URL で IFToMM のホームページを見ることができます。

<http://www.cim.mcgill.ca/~iftomm/>

内容： IFToMM Constitution (イフトム組織構成)

IFToMM Newsletter (ニュースレター)

IFToMM Mailing List (委員会のアドレス)

(5) 日本IFToMM会議ホームページ

URL: <http://www.leopard.t.u-tokyo.ac.jp/IFToMM/index.html>

[5] コーヒーブレイク

絵画： 作 人見 宣輝 (日本IFToMM会議 実行委員)

[3] IFToMM 関連の会議・講演会の報告

- (1) 10th World Congress (1999年6月20日～24日, Oulu, Finland)
- (2) 9th General Assembly (総会) (1999年6月23日, Oulu, Finland)
 - ・37ヶ国出席
 - ・三浦宏文委員長がIFToMM執行委員会のメンバーに選出された。
 - ・508件 presented orally, 116件 presented by poster
 - ・参加者: 45ヶ国から464名
- (3) 執行委員会 (2000年7月2日, Poland)
- (4) International Conference on Machine Automation (ICMA 2000)
(2000年9月27日～29日, 99大阪工業大学)

[4] 実行委員会からのお知らせ

9 (1) 第6回日本IFTToMM会議シンポジウム

日時: 平成12年11月28日(火) 10:00～

場所: 工学院大学・新宿校舎

論文原稿作成要領:

- ・形式は日本ロボット学会論文集に準ずる
- ・A4版片面で8頁以内
- ・日本語又は英語(発表も英語可)
- ・申込み及び原稿提出メ切: 9月20日(月)
- ・提出先: 日本IFTToMM会議事務局

(2) 平成12年度総会

日時: 平成12年11月28日(火) 16:30～17:00

場所: 工学院大学・新宿校舎

- (3) MMT誌の個人購読分について, No.34の出版元からの請求単価が10,002円('99.4.1現在の為替レート)とNo.33から36%アップしましたが, 当面9,500円に据え置きます。

- (4) Netscape 下記 URL で IFToMM のホームページを見ることができます。

<http://www.cim.mcgill.ca/~iftomm/>

内容: IFToMM Constitution (IFTToMM組織構成)

IFTToMM Newsletter (ニュースレター)

IFTToMM Mailing List (委員会のアドレス)

(5) 日本IFTToMM会議ホームページ

URL: <http://www.leopard.t.u-tokyo.ac.jp/IFTToMM/index.html>

[5] コーヒーブレイク

絵画: 作 人見 宣輝 (日本IFTToMM会議 実行委員)

「これはすごいのが東工大にいるな」と言わしめたのが下嶋君です。彼は、手帳を持たずに予定はずっと先まですべて記憶しているというすごい人です。「そんなことしたら忘れないか」と聞きましたが、「大丈夫だ」という返事でした。こんなすごい彼なので、IFTToMM Japan に関することも、次はどうすればよいかすべてきちんと整理されて頭に入っていたのではないかと思います。でも、それは下嶋君と一緒に天国に行ってしまいました。後任の幹事の私としてはつらい！

下嶋君！ 後に残った僕たちとしては、「まだ 50 半ばじゃないか」、「これからというときに」、「もうちょっと自重してくれれば」、「おまえ一人だけの体ではないんだぞ」などと思って「残念無念！」という気持ちが非常に強いのだけれども、見方を変えれば「君は好きなことをやって、アルツハイマーになる前に亡くなったのだから幸せな人生だったよな」と思います。

定年になったら、登るのはとても無理ですが、せめてマッターホルンの登山口まで行って、下嶋君が登っていった跡を見てみたいと思っています。

下嶋君の冥福をお祈りします。合掌。

(東京工業大学 機械物理工学専攻 林 巖)

事務局：

〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学 大学院 理工学研究科

機械物理工学専攻 林研究室 担当 林 巖

TEL: 03-5734-2535 (月～金曜日 9:00～17:00)

FAX: 03-5734-3917

E-mail : hayashii@mep.titech.ac.jp

VI. 2000年度日本 IFToMM 会議実行委員会委員案

委員長	三浦 宏文	工学院大学
副委員長	舟橋 宏明 吉本 堅一	東京工業大学 東京大学
委員	五嶋 裕之 板生 清 内山 勝 大石 久己 大輪 武司 加藤 正名 笠原 章裕 梶谷 誠 川島 忠雄 木村 康治 久保 愛三 木暮 賢司 小西 義昭 齊藤 之男 高西 淳夫 高増 潔 谷江 和雄 中田 毅 中村 仁彦 林 巖 林 輝 樋口 俊郎 福田 敏男 堀 幸夫 山川 新二	(財)機械振興協会 東京大学 東北大学 工学院大学 (株)東芝 秋田県立大学 (株)東芝 電気通信大学 東京電機大学 東京工業大学 京都大学 N T T境界領域研究所 日機装(株) 東京電機大学 早稲田大学 東京大学 工技院機械技術研究所 東京電機大学 東京大学 桐蔭学園横浜大学 東京大学 名古屋大学 金沢工業大学 工学院大学
監事	人見 宣輝	高エネルギー加速器研究機構